

## 第29回宇宙安全保障部会 議事要旨

### 1. 日時

平成30年9月20日（木） 14:00～16:00

### 2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室

### 3. 出席者

#### (1) 委員

青木部会長、片岡部会長代理、遠藤委員、久保委員、白坂委員、中須賀委員、名和委員

#### (2) 事務局

宇宙開発戦略推進事務局 高田事務局長、行松審議官、山口参事官、須藤参事官、高倉参事官、森参事官、津井企画官

#### (3) 関係省庁等

内閣官房 国家安全保障局 伊藤内閣審議官

内閣官房 内閣情報調査室 内閣衛星情報センター 管理部 会計課 金澤課長

総務省 国際戦略局 宇宙通信政策課 村上課長

外務省 総合外交政策局 宇宙室 上原主席事務官

文部科学省 研究科発局 宇宙開発利用課 山之内企画官

気象庁 観測部 気象衛星課 横田課長

海上保安庁 警備救難部 警備情報課 池田船舶動静情報調整官

海上保安庁 海洋情報部 海洋情報課 矢吹課長

防衛省 防衛政策局 戦略企画課 五味課長

防衛装備庁 技術戦略部 土志田革新技術戦略官

三井物産セキュアテックソリューション株式会社 公共事業部 宇宙・防衛グループ 七森シニアコンサルタント

### 4. 議事要旨

#### (1) 概算要求の状況について

資料に基づき、事務局及び関係各省から説明があった。委員から以下の意見があった。  
(以下、○意見等、●事務局又は関係各省の回答)

○ 文部科学省は、何時スペースデブリ除去技術の実証を行う予定なのか。

● 時期は検討中であるものの、現行宇宙基本計画の対象とする2025年頃までには初回の実証を目指したい。

○ 海洋監視体制の構築において利用する衛星にはどのようなものがあるのか。

● 現在JAXAの陸域観測衛星2号（ALOS-2）と米国のプラネット社の衛星画像を利用している。4年ごとに技術動向を踏まえて利用する衛星の見直しを図っていく予定である。

○ 宇宙設置型光学望遠鏡の将来的な導入の可能性について防衛省の見解を伺いたい。

● 将来的な導入の可能性を見据えて調査研究を行うが、現時点で導入することは決ま

っていない。

(2) GPSの機能低下による影響について

資料に基づき、三井物産セキュアディレクションより説明があった。委員から以下の意見があった。

(以下、○意見等、●三井物産セキュアディレクションの回答)

- タイムサーバーがGPS信号を受信できずに時刻の誤差が発生した場合、自動停止する仕組みになっているのか。
- GPS信号を受信できない場合においても、タイムサーバーには自身の内部時計があるため隸下のシステムとの時刻同期は継続すると推測する。ただし内部時計のみでは時間の経過とともに時刻の誤差が拡大していくことになるため、タイムサーバーを手動停止、又は自動停止するようにサーバーを設定している可能性がある。
- Spoofing 攻撃対策の一つである認証はコピーされる可能性がある。対策として有効なのか。
- ご指摘のような攻撃を受けるリスクがある。加えて米国国立標準技術研究所(NIST)では、将来的には量子コンピューターで容易に解読されうるため、Spoofing 対策として信号の暗号化には必ずしも肯定的ではないという見解である。

以上